## まえてつ通信3rd

NO. 032 2022.2.28(月)

## ◎大石県政のスタートにあたり

12年ぶりに県のトップが交代しました。

まず12年間、県政推進に取り組んで頂いた中村知事に対して感謝致します。多くの県政課題に対 して何事にも実直に真摯に取り組む姿は私達の範でありました。しかしながら「新幹線」「石木ダム」 「諫早湾干拓」「県庁舎跡地」という県政の重要課題は進展がなく、本県の最大の課題である「人口 減少問題」についても実績として歯止めをかけることはできませんでした(H22 比較で 12.4 万人減)。

県別の転入超過率 (九州・沖縄、2021年)			
県	転入超過率		
福岡	0.16 %		
佐賀	0.13		
長崎	▲0.21		
熊本	0.24		
大分	0.08		
宮崎	0.34		
鹿児島	0.31		
沖縄	0.32		
九州・沖縄	0.18		

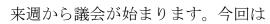
特に選挙期間中に報道のあった 2021 年の 30~40 代の九州各県の転入超 **過率は、長崎県だけがマイナスの数字**はその深刻さを表しています。

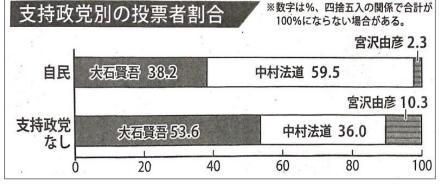
知事が変わりどれだけドラスティックに県政が変わるのか、大石県政に 私は大きな期待をしています。県政の一丁目一番地の人口減少対策につい ては、私自身は「雇用の創出」「県民の幸福度の徹底的追求」「教育の充実」 こそが最重点で取り組む課題との認識をしています。ある先輩県議は「お 手並み拝見」とマスコミの質問に答えておられ新聞活字となっていました が、私は積極的に意見し大石県政を支えていく覚悟でいます。

新知事には政策の優先認識だけではなく、取り組む「手法」を変えるこ とも求められています。佐賀県知事や石木の住民に対し、また人口減少対 策にはどのようなアプローチをしていくのか…私は、早速、人口減少対策 の手法として**「市町との連携が十分でない」**と認識しており、**私の提案で** 3年前に各市町毎に「人口減少対策チーム」が設置されましたが、

そこでの課題抽出に終わっている現状を、「課題の見える化」「県と各市町での (人口減少に対する) 連 **携協定」「基本計画策定」**という新たな手法を具体的に提案したいと考えています。

あわせて党活動では、今般の選挙で の出口調査で自民支持層の6割が現職 を支持していることについて、推薦候 補が勝利したとはいえ、今後信頼を取 **り戻す活動**が急務であります。個人と しても党組織の一員としても精力的に 取り組みます。





残念ながら個人質問はありませんが、予算決算委員会での総括質疑を希望しています(後日決定)。 任期も残り一年、ラストスパートです。

## ■3月定例会 日程

7 (月)	予算決算委員会理事会/議会運営委員会	18(金)	本会議(一般質問、議案・請願委員会付託)	
8 (火)	全員協議会	22(火)	予算決算委員会(総括質疑)/常任委員会	
9 (水)	全員協議会	23(水)	分科会・常任委員会	
10(木)	全員協議会/議会運営委員会	24(木)	分科会・常任委員会	
14(月)	本会議(開会)/議会運営委員会/予算決	25(金)	分科会・常任委員会	
	算委員会	29 (火)	予算決算委員会理事会/予算決算委員会/議会運営委員会	
17(木)	本会議 (一般質問)	30(水)	本会議(委員長審査結果報告、質疑・討論、採決、閉会)	

発行: 前田哲也 〒852-8023 長崎市若草町 14-11 TEL095-840-9020 [HP] maetetsu.jp ※まえてつ通信はご希望の方、ご支援頂いている方にお送りしています。メール配信(カラーPDF)ご希望の方はご連絡ください。

